

標 題 : Adherence to the Mediterranean diet and risk of prostate and bladder cancer in the Netherlands Cohort Study.
オランダコホート研究における地中海食事の順守と前立腺および膀胱のがんのリスク

著 者 : M. Schulpen, et al. (オランダ マーストリヒト大学医療センター
GROW - School for Oncology and Developmental Biology 疫学科)

掲 載 誌 : Cancer Epidemiol Biomarkers Prev. 2019 Jun 24. Pii: cebp.0224.2019.
[先行の電子出版] [冊子版は同誌 2019 Sep;28(9):1480-1488.]

要 旨 :

背 景 : 前立腺および膀胱のがんは頻繁に起こるがんで、少数の危険因子しか確認されていない。

地中海食事の順守と前立腺および膀胱のがんのリスクとの関連を「オランダコホート研究(NLCS)」で我々は調べた。

方 法 : 食事および他のがんの危険因子に関する開始時のアンケートを完了した、男性 58,279 人および女性 62,573 人のデータが入手できた。

アルコールなしの代替地中海食事スコア(aMEDr)など多数の地中海食事スコアを計算して、地中海食事の順守を評価した。

20.3 年の追跡後に、3868 件の前立腺がん症例(進行 : 1256 件)および 1884 件の膀胱がん症例を、多変量 Cox 比例ハザード分析に収録できた。

結 果 : aMEDr は進行した前立腺がんのリスクとは関連しなかった[ハザード比(HR) 2 点上昇当り (95%CI)=1.06(0.96-1.17)]。

それに引きかえ、高い aMEDr 値は非進行性前立腺がんの有意なリスク上昇と関連した (p 動向=0.04)。

膀胱がんに関して、aMEDr との関連は観察されなかった [HR 2 点上昇当り (95%CI)=1.00 (0.92-1.09)]。

WCRF/AICR 食事勧告に基づいた絶対スコアは、前立腺がんリスクとも膀胱がんリスクとも関連しなかった。

結 論 : aMEDr または他の地中海食事スコアで測定した地中海食事の順守は、オランダコホート研究で、進行した前立腺がんおよび膀胱がんのリスクと関連しなかった。

健康的な生活様式の高学歴男性において、医療を求める行動、検診参加、および前立腺がんの認識の高い水準が、非進行性の前立腺がんがんで我々が観察したプラスの関連を説明する可能性がある。

反響： 地中海食事の順守は、(進行した)前立腺がんのリスクも膀胱がんのリスクも低下させないとみられる。

著作権©2019、米国癌研究学会
